

平成19年度 福祉保健部 改革マニフェスト 自己検証シート

1) 目標と成果

マニフェスト	項目名 (担当部署)	集中改革プラン 項目	取り組み内容	区分	成果指標			活動指標			活動指標			自己評価	
					H17	H18	H19	H17	H18	H19	H17	H18	H19		
1	保育料収納向上の改革 (社会福祉課)	4-3	保育料の収納率を向上するために、未納者へ納付指導を行うとともに、催促連絡や夜間徴収などの取り組みを強化し収納率の向上に努めます。	指標名	収納率			督促状発行			夜間徴収回数			C	
				指標の算式等	収入額 / 調定額										
				目標(A)		98.5%	97.7%		1500通	1560通	35回	35回	40回		
				実績(B)	97.1%	96.7%	96.3%		1500通	1560通	35回	35回	40回		
				(A)と(B)の比較		1.8%	1.4%		0通	0通	0回	0回	0回		
2	保育園の統合 (社会福祉課)	26-2	保育園統合計画に沿って、統合計画の地区説明会を開催し、地域住民や保護者の理解を得ながら統合を推進します。平成19年度においては、該当地区の地域説明会を行い、5施設について廃止又は前期計画期間での方向付けを行います。	指標名	当該年度内に保育園の廃止又は前期期間での方向付けを行う数			統合計画地区説明会回数						B	
				指標の算式等											
				目標(A)			5園			22回					
				実績(B)		1園	1園		2回	19回	22回				
				(A)と(B)の比較			4園			0回					
3	行政サービスの向上 (高齢福祉課)	47-1	歌代の里の施設入所申込者が380人となっていますが、入所申込家族等の介護の軽減と経営の効率化を図るため、入所申込者の事前調査等を行い、施設退所者が出た場合の新規入所までの期間を短縮するとともに、介護サービス費収入の確保を図ります。	指標名	歌代の里施設新規入所に要する日数			短縮による一人平均的収入額						B	
				指標の算式等	退所日から次の入所までにかかった日数(総数) / 入所者数(総数)			短縮された日数 × 一人1日あたりの平均的収入額10,000円							
				目標(A)			10日			40千円					
				実績(B)		14日	6日			80千円					
				(A)と(B)の比較			4日			40千円					
4	各種健康診査の受診率向上 (保健医療課)	7-2	乳幼児の発育・発達の確認及び子育てに関する不安の解消を図るため、未受診者への文書での案内を行い、受診率の向上に努めます。また、成人については基本健康診査と各種がん検診を推進し、生活習慣病の早期発見と予防の普及啓発を図るため、広報誌、回覧板、ケーブルテレビ等を活用し、受診率の向上に努めます。	指標名	乳児健診受診率			未受診者への再通知実施率			乳児健診対象者数			C	
				指標の算式等	受診者数 / 全対象者数			通知実施者数 / 未受診者							
				目標(A)			95.0%	100%	100%	100%			1047人		
				実績(B)	90.6%	92.8%	94.3%	100%	100%	100%	1296人	1373人	748人		
				(A)と(B)の比較			0.7%	0%	0%	0%			299人		
				指標名	1才半健診受診率			未受診者への再通知実施率			1才半健診対象者数			C	
				指標の算式等	受診者数 / 全対象者数			通知実施者数 / 未受診者							
				目標(A)			90.0%	100%	100%	100%			297人		
				実績(B)	87.1%	85.5%	83.9%	100%	100%	100%	400人	394人	497人		
				(A)と(B)の比較			6.1%	0%	0%	0%			200人		
				指標名	3才児健診受診率			未受診者への再通知実施率			3才児健診対象者数			C	
				指標の算式等	受診者数 / 全対象者数			通知実施者数 / 未受診者							
				目標(A)			90.0%	100%	100%	100%			286人		
				実績(B)	88.6%	87.5%	79.9%	100%	100%	100%	451人	405人	482人		
				(A)と(B)の比較			10.1%	0%	0%	0%			196人		
				指標名	基本健康診査受診率			対象者への周知回数			基本健診受診者数			C	
				指標の算式等	受診者数 / 全対象者数										
				目標(A)			42.0%			5回			11,500人		
				実績(B)	41.4%	39.7%	40.8%			5回	10,366人	10,079人	9,829人		
				(A)と(B)の比較			1.2%			0回			1,671人		
指標名	肺がん検診による早期発見件数			肺がん検診受診率			肺がん検診対象者数			C					
指標の算式等				受診者数 / 全対象者数											
目標(A)			2件			55.0%			16,000人						
実績(B)	4件	6件	2件	52.6%	52.4%	54.0%	14,868人	14,818人	13,443人						
(A)と(B)の比較			0%			1.0%			2,557人						

平成19年度 福祉保健部 改革マニフェスト 自己検証シート

			指標名	胃がん検診による発見がんのうち早期の割合件数			胃がん検診による発見件数			胃がん検診受診率			C	
			指標の算式等	早期がん発見件数/がん発見件数						受診者数/対象者数				
			目標(A)			%								22.0%
			実績(B)	33.3%	58.3%	46.20%	15件	12件	13件	21.1%	19.5%	18.8%		
			(A)と(B)の比較											3.2%
			指標名	大腸がん検診による発見がんのうち早期の割合件数			大腸がん検診による発見件数			大腸がん検診受診率			C	
			指標の算式等	早期がん発見件数/がん発見件数						受診者数/対象者数				
			目標(A)			%								18.0%
			実績(B)	35.7%	18.2%	58.30%	14件	11件	12件	15.7%	15.3%	15.7%		
			(A)と(B)の比較											2.3%
			指標名	子宮がん検診によるがん発見件数			子宮がん検診受診率			子宮がん検診受診者数			C	
			指標の算式等				受診者数/対象者数							
			目標(A)			件			23.0%					2,400人
			実績(B)	2件	3件	2件	14.5%	17.6%	16.7%	1,795人	2,206人	1,799人		
			(A)と(B)の比較						6.3%					601人
			指標名	乳がん検診によるがん発見件数			乳がん検診受診率			乳がん検診受診者数			C	
			指標の算式等				受診者数/対象者数							
			目標(A)			件			19.0%					2,200人
			実績(B)	3件	2件	8件	17.9%	21.1%	19.9%	1,874人	2,046人	1,931人		
			(A)と(B)の比較						0.9%					269人

2) 取組過程と取組み後の対応

区分	チェック項目	自己評価	自己評価について(所見)
取組過程	取組みの段階において市民への説明やPRを十分に行ったか、また市民からの質問に対応する方法や体制が確立されていたか。	B	・市民への説明は直接行っていないが、2008佐渡市行政改革マニフェストで周知した。 ・各種健康診査の受診率向上については、既設の広報活動を有効に利用したが、角度を変えた広報を検討する必要がある。
	目標達成に向けた部局内の体制は効果に対し相応な対応であり、かつ万全であったか。(過剰な活動や予算、人員による取組みがなかったか。)	B	・特に保育園統合については、地域、保護者との説明会を積極的に行ない関係者の理解を得よう努力した。
	部局長のリーダーシップのもと、目標達成に向けた所管職員の意識啓蒙や部局内の風土づくりが行われたか。	C	・それぞれ担当者の範囲にとどまるくらいがある。
	所管職員が佐渡市行政改革マニフェストの趣旨と内容を十分に理解し、目標の達成に向けて精力的に取り組んでいたか。	B	・目標達成に向けて、積極的に実施するよう努めた。
	目標達成のための行程管理や関係機関等との調整が適切に行われていたか。	B	・適切におこなった。

平成19年度 福祉保健部 改革マニフェスト 自己検証シート

取組み後の対応	目標の達成に対する効果(アウトカム)の把握、または把握することの手立てをしたか。	B	担当課で評価を行った。
	目標を達成していない項目については、具体的な改善策を計画し、または他の手段により対応したか。	C	達成できない理由・課題を話し合い、改善方法と次年度の取組みを話し合った。
	実績と今後の対応について市民に説明を行ったか。	C	2008マニフェストで周知した。
	取り組みの過程と実績、課題点などについて部局内で話し合わせ、所管職員が状況を理解しているか。	B	進捗状況の共有化に努めた。
	実績に対する市民の質問や要望に対応する方法を確立したか。	B	情報公開を含め、丁寧な説明に努める努力を行った。

3) 総評

今年度の取組みに対する部局長のコメント	
<p>・目標の達成に至らない項目が多かった。各マニフェストの進捗状況の把握と評価を行い、課題を明らかにしながら、目標達成に向けた努力が必要である。</p>	
<p>【良かった点】 ・マニフェストの推進に向けた意識と取組む姿勢が認められるようになっている。</p>	
<p>【悪かった点】 ・保育料収納向上の方策並びに各種健康診査の受診率向上については、さらに工夫が必要と思われる。</p>	